

オレゴン州：小麦作柄と気象状況

2002年9月24日

2002年9月22日現在：

この1週間の気温は平年を多少上回り、北東地区では81～90度であった。州の南部を除き各地に降水が見られた。

土壌水分が不足しているが、多くの圃場で2003年産冬小麦の播種は続けられている。ウイラメット盆地での小麦の作付けが増加している。シャーマン郡の小麦農家は圃場の土壌水分が極度に不足しているが、冬小麦の播種を開始した。同郡の昨年9月から本年8月末までの降水量は8.66インチであり、これは平年より3インチ少ない。しかし、2001年の記録より2インチ多い。ウマティラ郡の小麦の出芽は疎らである。同郡では雨を待ち播種を控える農家が多い。

2002年8月1日付け農務省発表の冬小麦の生産量予想では、7月1日と全く同じである。単収40.0bu/ac(6月1日：47.0bu/ac)、収穫面積750,000エーカー、収量30,000,000ブッシェルである。春小麦の生産量予想は、7月1日より下向修正となり、単収25.0Bu/ac(7月1日：27.0bu/ac、昨年：30.0bu/ac)、収穫面積予想：155,000エーカー(昨年：175,000エーカー)、収穫量：3,875,000ブッシェル(昨年：5,250,000ブッシェル)となっている。

土壌水分状況：

	Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil (%)	41	44	15	0
Subsoil (%)	45	40	15	0

小麦進捗状況：

	This week	Last week	Last year	5 - yr Ave.
Winter wheat				
Seeded (%)	5	3	9	7
Emerged (%)	0	na	0	0

Source: Oregon Agricultural Statistics Services